

かしま

HOT HOT 通信

8月号 Vol.295

平成29年(2017年)8月1日発行

■編集/かしま病院広報委員会
■発行/社団法人養生会

〒971-8143
福島県いわき市鹿島町下蔵持字中沢目22-1
tel.0246-58-8010(代) fax.0246-58-8088

ご意見・ご感想は...
上記住所へ郵便、またはE-mailでお送り下さい。
かしま病院広報委員会(井沢 宛)まで
k-izawa@kashima.jp

ホームページ <http://www.kashima.jp>

かしま病院

検索

携帯サイト <http://www.kashima.jp/m/>

インターネット閲覧機能搭載の携帯電話から、
クリニックかしまの診療情報をご覧いただけます。



巻頭特集

「夏真っ盛り、
野に山に海に
行楽シーズン到来です！」

楽しい野外でのレジャー、感染症予防もお忘れ無く

かしま女子的ちょっと井戸端会議

コラム ひんがら目(122)

『欧米に寝たきり老人はいない』
呼吸器科 部長 山根 喜男

ようこそ家庭医療へ!

リハビリPOST

イベント開催予定のお知らせ

かしま荘通信

オープニングスタッフ募集!!

2017年9月1日 直営新規オープン

かしま病院給食スタッフ

栄養士

調理師

調理員



正職員・嘱託職員

給食調理業務全般
※栄養士・調理師の有資格者
であれば尚可

パート

調理補助・盛り付け・
食器洗浄・配膳

条件・待遇等

詳しくは、下記まで
お問い合わせ下さい。

私たちと一緒に患者さんの笑顔を作る仲間を募集しています。
先ずはお電話下さい。 かしま病院 (0246) 58-8010(代)

巻頭特集

夏真っ盛り、 野に山に海に行楽シーズン到来です！ 楽しい野外でのレジャー、感染症予防もお忘れ無く



よいよ夏
がやって
来ました。毎日
暑い日が続いて
いますが、皆さ
んはいかがお過
しですか。屋
外レジャーの最
盛期。週末や夏

は、誤って食べると生命に関わる程
の毒性を持ったものもたくさんあり
ます。春から秋にかけては、虫たち
が特に活発に活動する時期です。蟻、
蚊、蜂、蛇、ブヨ、ムカデ、毛虫...
人を刺す毒虫がたくさん活動してい
ます。刺されて、アナフィラキシー
ショックを起こすと命に関わります
ので、十分な注意と対策が必要です。
そもそも野生生物は、様々な感染
症を媒介する宿主となっていること
が少なくありません。可愛いからと
いってむやみに触れると、重大な感
染症にかかる可能性があります。綺
麗に見える沢の水も、動物の水飲み
場になっていると細菌やウイルスで
汚染されている可能性があります。
山の湧き水を飲んで集団感染した例
もあります。どんなに綺麗に見えて
も、決してそのまま飲まず、必ず煮
沸消毒してから飲むようにしましょう。

重症熱性血小板減少症候群について

皆さんは、重症熱性血小板減少症候群(SFTS)という病名を聞いたことがありますか。SFTSは、病原体ウイルスの宿主となったマダニに刺されることで感染する、ダニ媒介感染症です。2013年1月に日本国内で初めて患者が確認されました。最初の患者が確認されて以降、毎年60名前後の患者が報告されており、今年6月28日現在の発症報告数は266件、うち死亡例は57件で死亡率は21.4%となっています。

最初にSFTSの患者が報告され

たのは、2011年の中国でした。これまでに中国、韓国、日本で患者の発生が確認されています。日本で見つかったSFTSウイルスをDNA分析した結果、中国や韓国で流行しているSFTSウイルスとは異なる遺伝子型であることが分かりました。日本のSFTSウイルスは、中国や韓国から入ってきたものではなく、ずっと昔から日本にあった感染症で、たまたまSFTSと認定されたのが2013年だっただけと考えられます。



2に続く

SFTSは、犬や猫からも感染します



厚生労働省は、今年7月24日、昨年の夏に野良猫に咬まれた50代女性が、SFTSに感染し、死亡していたと発表しました。

SFTSは、ダニ媒介感染症で、動物から人に感染した事例は報告されていませんでした。ところが、今回の厚生労働省の発表で、SFTSに感染した動物から人に感染する可能性があることが分かりました。

犬や猫などのペットであっても、外に出ればマダニに接触する可能性が十分にありまます。もう既にSFTSに感染している犬猫がいても不思議ではありません。SFTSは、私達の身近なペットから感染する可能性もあります。ペットのダニ予防法は、かかりつけの獣医師にご相談ください。



ダニが媒介する感染症

● **重症熱性血小板減少症候群 (SFTS)**

潜伏期間は、6〜14日。
主症状は、発熱、消化器症状（嘔気、嘔吐、腹痛、下痢、下血）、腹痛、筋肉痛、神経症状、リンパ節腫脹、出血症状などを伴うことがある。
致死率は、10〜30%程度。
特效薬やワクチンなど有効な治療法はなく、症状を緩和する対症療法が中心となる。

● **ダニ媒介脳炎（中央ヨーロッパ脳炎、ロシア春夏脳炎）**

潜伏期間は、7〜14日。
中央ヨーロッパ脳炎は、発熱、筋肉痛などのインフルエンザ様症状が2〜4日間続く。その後、三分の一の患者は、数日経って髄膜炎から痙攣、眩暈、知覚異常などを呈する。致死率は1〜5%、後遺症が35〜60%の患者に残る。
ロシア春夏脳炎は、突然の頭痛、発熱、悪心、羞明が初期症状。極期には精神錯乱、昏睡、痙攣、麻痺などの脳炎症状が出現することがある。致死率は30%と高く、後遺症が30〜40%の患者に残る。
どちらも有効な治療法はなく、症状を緩和する対症療法が中心となる。

● **つつが虫病**

潜伏期間は、5〜14日。
主な症状は、全身倦怠感、食欲不振、頭痛、悪寒、発熱。刺し口近くのリンパ節の腫脹が見られる。体温が徐々に上昇し数日で40℃に達することも。不定型の発疹が、発症3〜4日頃から顔面、体幹に多く出る。重症になると肺炎や脳炎症状を来す。
テトラサイクリン系の抗菌薬による治療が有効。

● **日本紅斑熱**

潜伏期間は、2〜8日。
つつが虫病とほぼ同様の症状を呈し、臨床的な鑑別は困難。
テトラサイクリン系の抗菌薬による治療が有効。

● **ダニ媒介回帰熱**

潜伏期間は、12〜16日。
主な症状は、発熱、頭痛、悪寒、筋肉痛、関節痛、全身の倦怠感などの風邪様症状。神経症状（意識障害、けいれん、昏睡）、リンパ節腫脹、呼吸不全、出血症状（歯肉出血、紫斑、下血）が現れることがある。
テトラサイクリン系の抗菌薬による治療が有効。

● **ライム病**

潜伏期間は、7〜21日。
主な症状は、刺された部分を中心とした特徴的な遊走性の紅斑。筋肉痛、関節痛、頭痛、発熱、悪寒、倦怠感などのインフルエンザ様症状を伴うことがある。その後、皮膚症状、神経症状、心疾患、眼症状、関節炎、筋肉炎など多様な症状が現れる。
抗菌薬による治療が有効。

● **クリミア・コンゴ出血熱**

潜伏期間は、2〜9日。
症状は、非特異的。発症は突発的に、発熱、頭痛、筋肉痛、腰痛、関節痛がみられ、重症化すると大小様々な出血がみられる。肝腎不全と消化管出血による死亡例が多い。発症率は20%程度、致死率は60〜85%ととても高い。
有効な治療法はなく、症状を緩和する対症療法が中心となる。

R a s h i m a ☆ G i r l ' s ☆ T a l k ☆

かしま女子的

ちょっと

井戸端会議

看護部東2病棟 内海めぐみ

「夢」

私には、中学校1年の娘と小学校5年の息子がいます。娘の夢は幼い頃から看護師になる事。その思いはずっと変わらずにいます。（ちなみに絶対かしま病院の看護師になりたいそうです。笑）息子の夢は、今までいろいろ変わりましたが、最近はお医者さんになりたいと言っています。（こちらもかしま病院で働きたいそうです。ただ、日替わりランチのように変わるのだから掲載される頃にはまた変わっているかもしれません。笑）

私の夢も看護師になる事でした。夢を実現させた事にはなりません。実はギリギリで進路変更をしたのです。それまでは、全く別の進路を考えていました。しかし、自分の夢のために頑張っている友人達を見て、私は本当にこれで良いのか？自分のやりたい事をやらざるこのまま進んでしまつて良いのか？という強い思いで急遽進路を変え担任の先生や親をだいたい困らせた事を覚えています。しかし、あの時あの瞬間にこの道を選択し本

当に良かったと日々感じています。医療の世界はとても厳しいです。しかし、それを忘れる位のやりがいがあります。何よりこの仕事に誇りを持ち、天職だと自分では思っています。

先日、娘の授業参観にて夢を発表する場面がありました。娘の言葉を聞き私は涙してしまいました。「お医者さんをサポートし、お母さんのように患者さんに優しい看護師になるのが私の夢です。」と照れくさそうに話す娘。幼い頃から休日に関係なく仕事・仕事・仕事の日々。「どうしてママは他のお母さんのようにお家にいないの？」と言われた時も何度もありました。「お仕事いかないで!!」と泣いている娘をおいて仕事に向かう時も何度もありました。それでも、看護師になりたいという夢を持ち続けている娘を本当に嬉しく思います。

そんな娘に恥じないようこれからも看護師として頑張りたいと思います。



ダニに刺されないための予防法

マダニやつが虫は、木の葉や草むら、土の表面に生息しています。ダニ媒介感染症は、予防するためのワクチン等はありません。ダニに刺されないことが、最も有効な予防法です。

1 できるだけ草むらに入らない



2 野山に行く時は長そで、長ズボンで、肌を露出しない



3 サンダルのような肌を露出するようなものは履かない



4 草の上に直接座ったり寝転んだりせず、敷物を利用する



6 虫よけスプレーを使用する



7 帰宅後、すぐに入浴し着替える



ダニに刺されたかなと思ったら



ダニ媒介感染症は、治療が遅れると重症化し、重い後遺症が残ったり、死亡する場合もあります。野外レジャーや畑仕事など、ダニに刺された心当たりのある方は、早めに医療機関に相談してください。

受診時には、「〇月〇日に野山に行った、〇月〇日に草むらで作業した、〇〇の時にダニに刺された(かもしれない)」など、日付、場所、発症前の2週間程度の行動を伝えると診断の役に立ちます。ダニに刺された場合は、無理に取ろうとせず、皮膚科や外科にご相談ください。無理に取ると、刺し口が残って化膿したり、潰して感染症の原因になることがあります。

しっかりと予防して、野山や海でのレジャーを楽しんでください。



厚生労働省

<http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000169522.html>
http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/sfts_qa.html

NIID 国立感染症研究所

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/sfts/3143-sfts.html>

参考文献

『欧米に寝たきり老人はいない』

第16回いわき呼吸ケア研究会での講演から

酸素が不足して呼吸が苦しい人に在宅酸素療法(HOT)が始まったのは約30年前です。HOTの治療を安全に普及させるために全国に研究会が作られました。いわき市でも平成13年に「いわき呼吸ケア研究会」が発足しました。帝人在宅医療株式会社さんの後援で年一回、研究発表と特別講演が開催されます。酸素療法だけでなく、排痰指導や呼吸理学療法、在宅人工呼吸療法、誤嚥性肺炎の予防など、いわき市内の医療機関や福祉介護施設の方々が一堂に会し知見を交換します。

今年、江別すずらん病院認知症疾患医療センター長の宮本礼子先生と、ご主人で北海道大学名誉教授、北海道中央労災病院長の宮本頭一先生にお越し頂き、「高齢者終末期医療の現状と課題ー取り組みは在宅と施設からー」と題する講演でした。



力ニューレなどに繋がれ、手足胴体を抑制されて生きながらえる、もの言わぬ寝たきり高齢者医療の現状。患者さんの意思よりは、家族の方の意向に沿った医療。延命至上主義の日本の医学教育と、死から遠ざかり死を受け入れられなくなった日本人。死を口外することを憚る言葉の国に、ほん。そのため本人の意思が伝わらず、あるいは本人自身が死を想定しておらず、たとえ本人の意思がはっきりしても周囲がそれを聞こうとせず(高齢者の人権への配慮の欠如)、終末期であるという判断を受け入れられず、延命処置が繰り返されています。医療者も、不作為による法的責任を逃れるために延命処置に追い込まれます。終末期医療への法的整備が確立していません。下世話な話では、高齢者の年金がなくなると困り果てる家族の存在や、無効とは知りつつも延命処置による診療報酬に頼らざるを得ない行き詰った日本の保険医療制度。家族も医療者も、高齢者の意思とは別の方向に進んでいます。

欧米でも、最初は今の日本と同じ状況でした。20年かけて、安らかに穏やかに最期を迎える様になったそうです。終末期には、血圧や尿量の測定はやらす、抗生剤や昇圧剤、利尿剤も使用しません。もちろん点滴もやりません。高齢者終末期では、経管栄養や胃瘻、点滴などは栄養を改善させず、誤嚥も予防できず、痰などを増やし苦痛を深めることが分かっています。脱水気味になると、嘔吐・痰が減り、呼吸が楽になり、また、ケトン体やβエンドルフィン(脳内麻薬)が増え、鎮静作用があり多幸感になるようです。高齢者終末期医療について大変勉強になりました。

講演は、全国紙の一面広告で話題になった、全身癌だらけの樹木希林さんの「死ぬときぐらい好きにさせてよ」の終活宣言から始まりました。点滴や、経管栄養、気管

(呼吸器科部長 山根 喜男)

ようこそ 家庭医療へ!

～ いわきに生きる家庭医療への挑戦～

第90回

地域医療研修の医学生に看取りについて教えてみたら...



診療部 石井 敦

福島県では地域医療に興味のある全国の医学生を対象に、地域医療体験研修を開催しています。地域医療への理解をより深めてもらえるように、県内各自治体や各地域の医療機関が主体となって、地域医療の現場を実際に「見て」「聴いて」「感じる」ことができる企画です。県内の病院・診療所の見学、医療従事者との意見交換、地域住民との交流など、各地域の特色を活かした、他では体験することができない研修を目指しています。

いわき市でも「いわき地域医療セミナー」と称し、地域医療体験研修を開催されています。参加者のみなさんには、出来る限り広く包括的にいわきの医療の全貌を理解してもらえるように工夫され、訪問診療や地域包括ケアに積極的に取り組んでいる当法人も今年度から当研修プログラムに組み込んでいただけることになりました。しかも、地域医療の充実にテコ入れをしている福島県立医科大学では、この地域医療研修を今年度から3年生の必須プログラムとして位置付け、医学生たちが地域医療の実情を深く学べるように配慮しています。その結果、7月から9月にかけて計4回、2泊3日のプログラムに延べ47名の医学生たちが今年度のいわき地域医療セミナーにエントリーしてくれました。

「いわきの地域医療を学ぶために当院での研修で提供出来ること……。それは、良い意味で若者の夢を打ち砕くこと！」研修の受け入れに際し、そんな悪巧みを思いついた変人(わたくし)のいたずら心に火がついたことは言うまでもありません。日進月

歩、華々しい進歩をとげている医療技術。しかしながら、超高齢社会の波の中、現代の高度先進医療を駆使しても解決し得ない、老衰や認知症などの終末期の患者さんは急増しています。看取りを前提とした超高齢者のケアこそ、この機会に若き医学生に敢えて考えて欲しいテーマである。という結論に達しました。

さて、実際の研修では、各参加者にマンツーマンで担当患者さんを割り振らせていただきました。ほとんどの方が85歳以上の超高齢者です。診察の後、一通り個々の感想を述べてもらったところで、学生さんたちに「今日出会った患者さんたちの10年後は?」と、敢えて意地悪な質問をぶつけました。その時の皆さんたちの表情は忘れられません。まさに一同「そんなこと(患者さんの死について)考えていなかった」という感じでした。私は「患者さんを看取る覚悟と責任のある医師になって欲しい」と続けました。今、患者さんを看取る覚悟と責任のある医師が絶対的に足りません。逆に、そのような医師が充足すれば、2030年の超高齢多死社会問題は一気に解決します。その実現のために日々活動している私たちの姿を見て、聴いて、感じてくれたなら、このセミナーは大成功です。学生さんたちが何を想い、いわきを後にしたのか? 気になるところです。

かしま病院では、2008年度から家庭医を志す研修医や地域医療実習を行う医学生を受け入れています。このコラムを担当する医師の石井敦は日本プライマリ・ケア連合学会認定指導医として、研修医・医学生の指導を行っています。



第77回

回復期リハビリテーション病棟の取り組み

感なども薄れてきます。そこで、楽しみの要素を取り入れた回復期病棟の様々な取り組みを紹介していきます。

週1回の作業療法士による集団リハビリでは、体操やお手玉を落とさないように運ぶゲームや頭を捻らせるようなクイズなど、毎回患者様が楽しんで参加できるように思考を凝らしています。日曜日に実施しているレクリエーションは、ぬりえや掲示物をスタッフと一緒に作成しています。6月には、きれいな紫陽花が病棟を彩らせていました。季節ごとに、ひな祭りや七夕、ク

今 回も前回と同様に回復期リハビリテーション病棟(以下、回復期病棟)についてお話ししていきます。回復期病棟ではリハビリが目的のため、どうしても入院期間が長期になってしまいます。そうするとストレスもたまるようになりますし、また季節

クリスマスの飾りつけも行います。2ヶ月に1度のおそりパーティーは、遊び(ゲーム)とリハビリとを融合させたもので、回復期病棟ならではのイベントのひとつです。夏祭りや運動会、カラオケ大会などがあります。患者様、時にはご家族様にもカー一杯の参加をさせていただいております。カラオケ大会では、のど自慢顔負けの美声に驚かされることも少なくありません。

これらのことが患者様の入院生活の楽しみとなり、また少しでもリハビリにつながるよう、回復期病棟スタッフ一同が話し合いながら取り組んでいます。機会がありましたら、ぜひご参加ください。

言語聴覚士 鈴木歩実



▲スタッフと一緒に作成した掲示物

かしま荘通信

かしま福祉まつり

7/29(土)



夏の恒例イベント「かしま福祉まつり」が開催されました。今回も、多彩なイベントと模擬店に会場は大盛況となりました。ご協力いただきました方々に厚く御礼申し上げます。

イベント開催予定のお知らせ

糖尿病教室

日時 毎月第1火曜日 10:00～10:30

会場 クリニックかしま会議室

- ・8月1日(火)『自己血糖測定 活用術!』
こんなときどうしたらいいの?
- ・9月5日(火)『痛みがある時の運動療法』
～理学療法士と考えてみませんか?～
- ・10月3日(火)

ゆる体操教室

時間 1回目 13:30～14:30

2回目 15:00～16:00

会場 クリニックかしま会議室

- ・8月27日(日)
- ・9月9日(土)
- ・10月28日(土)

家庭医療セミナー～実践家庭医塾～

時間 19:00～20:00

会場 かしま病院コミュニティーホール

- ・8月 休み
- ・9月14日(木)

乳がん患者のつどい アイリスの会

日時 毎月第3水曜日 14:00～15:30

会場 かしま病院コミュニティーホール

- ・8月16日(水)
- ・9月20日(水)
- ・10月18日(水)

興味のある方は、お問い合わせください。